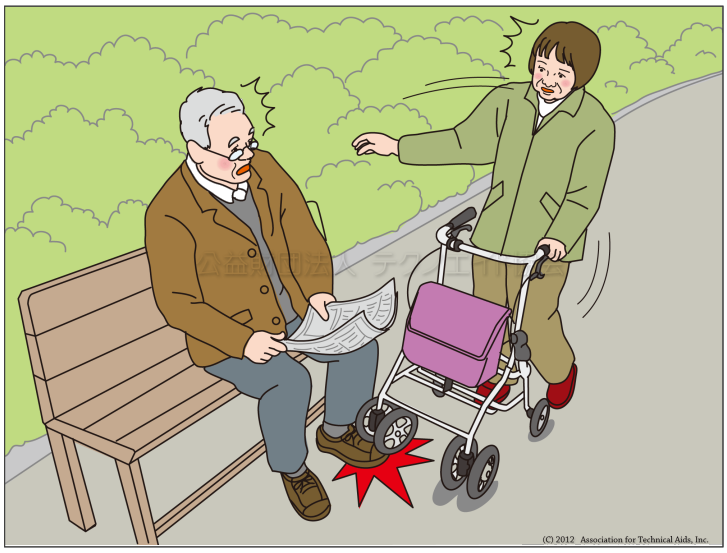
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：238
人の足をひいた衝撃で、バランスを崩しそうになる

場面の説明

ベンチに座っていた人の足を歩行車でひいてしまい、キャスタが浮いたことでバランスを崩しそうになった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

屋外での歩行車の利用では、段差や放置自転車など様々な障害物がありますが、人の足であってもそのような障害物になりえるという事例です。歩行車や杖を利用している人は、少しの段差や凹凸でもバランスを崩し転倒しやすいので、周囲の人の見守りや協力が安全を確保する上で大切になります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：前方をよく確認せず歩いていた
人：目測を誤った
人：とっさに障害物を避ける能力がなかった
環境：路面の状態から、ベンチの近くが一番通りやすかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.